

第6学年 総合的な学習の時間学習指導案

単元名：ふるさと荘山田を未来に残そう

指導者 呉市立荘山田小学校 井上 尚也

【考え・基礎知識】

自分達が住んでいる地域の歴史について知りたいこと、疑問に思っていることを調べ、課題を知る。荘山田に関する歴史をまとめるとともに、発信する方法を学

【つながり】

収集した情報を分析し、課題を解決するために自分達にできることを考え、判断し、地域に発信する。

【応用・ひろがり】

荘山田と他地域の特徴の違いを見つけ、地域に対する誇りを持ち、地域の一員として何ができるか考え、行動していこうとすることができる。

- 1 日時 令和元年11月21日(木) 第4校時
- 2 学年 第6学年2組 男子17名 女子18名 計35名
- 3 場所 6年2組教室

単元について

荘山田の地域には、寺や神社、商店街や旧跡等の荘山田の文化や歴史を感じ取ることができるものがたくさんある。地域の歴史に興味をもち、自らを取り巻く社会と自分の生活との関係を実感としてとらえさせ、社会の一員としての自覚を持たせたい。

本単元は、荘山田の歴史について、話し合ったことをもとに課題を設定し、調べて分かった荘山田の伝統やよさについてまとめ、多くの人に発信する。そして、活動全体を振り返り、さらに新たな課題を設定する。このような探究的な活動を通して、児童が自ら課題意識をもち、計画を立てて進めていく「主体的な学び」へつなげていくものである。自らの予想のもと、複数の方法で情報収集して取り組む力を身に付けるとともに、地域や学校の一員として荘山田の歴史について効果的な方法で伝えようとする力を高めることを期待し、本単元を設定した。

また、本単元では、中学校区で設定した資質・能力の中から、「思考力・判断力・表現力」「協働的な態度」の育成を目指す。学習過程の中で、調べたことと経験から得た知識を結び付けたり、分かったことを発信したりする中で「思考力・判断力・表現力」を育成し、調査をする中で地域の人の思いを知ることや友達との共同作業を通して「協働的な態度」を育成できると考える。

児童の実態

(1) 学習内容に対する実態

本学級の児童は、前年度の総合的な学習の時間に、災害に遭った校区の様子を調べ、地域の危険な場所や避難できる場所を防災マップにまとめるという「荘山田みんなで防災」の活動をしてきた。災害の様子を調べる中で、インタビューの仕方やインターネットを使った調べ方等を身に付けてきた。また、お互い発表し合う中で、相手や目的を意識して資料を活用したり説明の仕方を工夫したりすることを経験してきた。

本中学校区では、発達段階に合わせて地域のマップ作りの活動に取り組んできた。その活動を通して児童はある程度荘山田の文化や歴史を感じさせるものを知っている。しかし、いつできたものなのか、なぜできたのか等は詳しく知らない。

児童への「地域」についての意識調査では、「呉市の文化や歴史のことをもっと知りたい」と感じている児童が94%、「呉市にはすばらしいものがたくさんある」と感じている児童が87%、「自分の住んでいる地域のことが好きだ」と答えた児童が85%と、地域に興味があり、誇りに思っている児童が多いことが分かる。また、通学する中で、地域の歴史に関心をもつと共に、地域の歴史について課題意識も生まれつつある。

(2) 資質・能力に対する実態

本単元で児童に育成を目指す資質・能力の実態を明らかにするために、中学校区で設定した資質・能力に関するアンケートを行ったところ、以下のような結果となった。

資質・能力	アンケート項目	アンケート結果			
		よく	あてはまる	あまり	全く
思考力・判断力	学んだことをもとに、よりよい方法を考えていますか。	11人	16人	8人	0人
表現力	目的に合わせた表現ができていますか。	9人	24人	1人	1人
協動的な態度	目的に応じていろいろな人の考えを聞いて、解決方法を考えていますか。	13人	16人	6人	0人

児童アンケートでは、「学んだことをもとに、よりよい方法を考えていますか。」の設問に対して、約77%以上の児童が肯定的な回答をしている。しかし、日常生活の中でよりよい方法を考えることに難しさが見られる。

指導改善のポイント

指導方法について（本中学校区が育成すべき資質・能力とのかかわり）

単元の導入では、校区の歴史について知っていることや疑問に思っていること、地域に関する意識調査の結果をもとに自由に話し合わせ、校区の歴史に関する課題を設定していく。

- ① 昔からある建物や碑等、追究したいものごとにグループに分かれ、調査活動を行わせる。情報収集活動では、知りたい情報に応じて本・漫画・家の人や地域の人からの聞き取り、インターネット等情報ネットワークの活用を図ることで、思考力・判断力の育成を目指す。調査活動を通して、先人の努力や歴史について理解を深めることで、地域のよさに気付かせ、地域の一員としての自己の生き方を考えさせる。
 - ② 次に、各グループで情報収集したことをまとめ、全体交流を行うことで、自分たちの地域の歴史やよさに気付かせる。そのことを多くの人に伝えたいという思いを持たせ、「ふるさと荘山田を未来に残そう」という単元のゴールの設定につなげる。
 - ③ そして、荘山田の歴史を未来に残す方法を考えさせ、保護者を対象に歴史案内をしたり、歴史マップを作成したりする活動につなげていく。保護者の興味をひき、保護者に分かりやすい説明（案内）にするために、資料や地図の活用の仕方を工夫させる。その際、他教科との関連を図り、効果的な表現方法を身に付けさせる。
- ①～③の活動を通して、地域の人への感謝の気持ちを高めさせ、「感謝の会」等の計画につなげていく。仲間と協力して会の準備をする中で、協動的な態度を養う。

単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標

- 先人の努力の結果により、現在のくらしがあることを理解し、インタビューで聞き取ったことをもとに事実と意見を分けて文章にまとめることができる。（知識・技能）
- 呉の歴史について必要な情報を調べたり、調べたことをマップ等に表し、効果的な方法で伝えたりすることができる。（思考力・判断力・表現力）
- 課題を追究する中で、仲間と協力して活動したり、地域の人への願いに気付いたり、地域の人々に感謝の気持ちをもったりすることができる。（協動的な態度）

(2) 単元の評価規準及び本単元を通して育成を目指す資質・能力（目指す児童の姿）

資質・能力	知識・技能	思考力・判断力・表現力	協動的な態度
評価規準（目指す姿）	調査活動から、地域の歴史について理解し、事実と意見を分けて、文章にまとめている。	調査活動から歴史に関する課題を見つけ、課題解決に向けて計画を立てたり、分かったことや考えたことを分かりやすくまとめ、効果的な方法で表現したりしている。	地域の人や友達と思いや考えを伝え合ったり、交流したことを生かして活動したりしている。

単元のイメージ

まとめ・表現

地域の人に感謝の気持ちが伝わるようにしよう。これからも、みんなの力で荘山田のよさを未来につなげていきたい。

三次(7時間)

「ふるさと荘山田」感謝の会を開こう!!!

課題設定 「ふるさと荘山田」のよさを未来に残そう。

まとめ・創造・表現

保護者が見ても分かりやすい歴史マップやパンフレットにしよう。今の暮らしは、地域の人々の努力によって成り立っているんだな。

二次(24時間) 本時11/24

「ふるさと荘山田」歴史案内をしよう!!

課題設定 見つけた「ふるさと荘山田」の歴史を伝えるためにできることを考えよう。

一次(24時間)

昔の「ふるさと荘山田」について調べよう!

まとめ・表現

自分たちの町には、こんな歴史があったのか。この歴史をもっとたくさんの人に知ってもらいたいな。

課題設定 お家の方や先生など、昔の「ふるさと荘山田」の歴史を知らない人が多いな。

どんな歴史があるのかな。

指導と評価の計画

(全55時間 本時第35時) ○数字は時間数

	学習内容	主な評価規準				
		知	思	協	評価規準	
一次 昔の「ふるさと 庄山田」 について調べよう！	○校区の歴史について知りたいこと、疑問に思ったことを話し合い、共有する。 課題の設定 ①		◎	○	・話し合いから地域の歴史に関する課題を考えている。 ・友達の考えを取り入れながら、歴史に関する課題をもととしている。	発言 ワークシート 行動観察 ふりかえり
	○校区の様子を見たり、地域へのアンケートをとったりする。 課題の設定 ②	◎	○		・庄山田の歴史について理解を深めている。 ・見たことや意識調査から地域の歴史に関する課題を考えている。	ワークシート 行動観察 ふりかえり
	○話し合ったことや見たことをもとに課題を設定する。 課題の設定 ①		○		・話し合ったことや見たことから歴史に関する課題を見出している。	発言 ワークシート 行動観察
	○校区の歴史について設定した課題に必要な情報を収集する計画を立てる。 情報の収集 ②	◎	○		・調査活動で得た情報を整理することができる。 ・課題解決に向けて、必要な活動を考え、計画を立てている。	ワークシート 発言
	○課題別に情報収集する。 情報の収集 ⑦ ・課題について調べる。 ・家の人や地域の人に聞く。	◎	○	○	・課題について調べ、庄山田の歴史について理解を深めている。 ・複数の情報から必要な情報を取捨選択している。 ・友達の考えを取り入れながら、よりよい方法で情報を収集している。	ワークシート 発言 行動観察
	○収集した情報を整理して交流し、さらに追究したいことについて話し合い、調べる。 整理・分析 ⑦	○	○	◎	・情報収集活動で得た情報を整理することができる。 ・歴史について調べる資料を探したり、聞き取ったりしている。 ・庄山田の歴史を伝承するために自分のできごとを考えている。	ワークシート 発言 行動観察
	○課題別に調べたことをまとめる。 まとめ・表現 ④		◎		・収集した情報を整理・分析し、ワークシートにまとめている。	ワークシート 行動観察
○ふるさと庄山田のよさを残すことについて話し合い、課題を設定する。 課題の設定 ①		○		・庄山田の歴史やよさを伝承する方法を考えている。	発言 ワークシート ふりかえり	
○歴史を分かりやすく伝えるために必要なものを作成する。 まとめ・創造・表現 ⑧ ・校区の歴史マップを作る。 ・校区を紹介する歴史パンフレット等を作る。		○	◎	・収集した情報を整理・分析し、歴史マップやパンフレットのよさが分かるように表現方法を工夫している。 ・歴史マップやパンフレット作りの中で、互いのアイデアを生かして、よりよいものを築いている。	発言 ワークシート 行動観察	

二次 「ふるさと庄山田」歴史案内をしよう!	○作成した歴史マップやパンフレットを、保護者や地域の人に分かりやすく紹介する方法を考える。 整理・分析 ①	◎	○ ・保護者や地域の人に分かりやすい説明になっているかを考えている。 ・分かりやすい説明するために、友達の意見を取り入れながら、よりよいアイデアについて話し合っている。	ワークシート 発言 行動観察 紹介資料
	○まとめたことを報告し合い、よりよい伝え方を考える。 整理・分析 ③ 本時 1/3	○	◎ ・聞き手に分かりやすい説明になっているかを考えている。 ・課題の解決に向けて、友達と協力し合っている。	ワークシート 発言 行動観察 紹介資料
	○保護者や地域の人に活用される歴史マップやパンフレットに作り直す。 まとめ・創造・表現 ⑧	◎	○ ・話し合いで出た意見をもとに、工夫しながら紹介資料を作っている。 ・友達の考えを取り入れながら、よりよい表現方法に改善している。	ワークシート 発言 行動観察 紹介資料
	○保護者や地域の人に歴史マップやパンフレットを使って「ふるさと歴史案内」をする。 実行 ②	○	・目的意識や相手意識をもって、校区の歴史について伝えている。	発表資料 発言 行動観察
	○「ふるさと歴史案内をしよう」を振り返る。 振り返り ①	○	・自分や友達、地域のよさや成長、学んだことについて振り返っている。	ワークシート 発表 振り返り
三次 「ふるさと庄山田」感謝の会を開こう!	○自分たちの生活を支えてくれている人々に何ができるか考え、課題を設定する。 課題の設定 ①	○	・地域の人に自分たちができていることを考えている。	発言 ワークシート 行動観察
	○「感謝の会」の計画を立てて、準備を行う。 情報の収集・整理・分析 まとめ・表現 ③ ・何を行うのか、どう招待するのか、感謝の気持ちをどのように伝えるのかを考える。 ・「感謝の会」で何をするかを話し合う。 ・必要な道具を作る。 ・「感謝の会」の準備をする。	○ ◎	○ ・課題解決に向けて、必要な活動を考え、計画を立てている。 ・収集した情報を整理・分析し、表現方法を工夫して、必要な道具を準備している。 ○ ・友だちの意見も取り入れながら、協力して活動している。	ワークシート 発言 行動観察 紹介資料
	○「感謝の会」を行う。 実行 ②	○	・目的意識や相手意識をもって、感謝の会を行っている。	発表資料 発言 行動観察
	○「感謝の会」の振り返りをする。 振り返り ①	○	・自分や友達、地域のよさや成長、学んだことを振り返っている。	発表 振り返り ワークシート

本時の学習

(1) 本時の目標

調べて分かったことを報告し、歴史を伝承するための伝え方を考え、まとめることができる。

(2) 育成を目指す資質・能力 思考力・判断力・表現力

(3) 本時の学習展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準《評価方法》
課題 発見 (2)	1 本時のめあてを確認する。	○単元の目標を確認し、本時の話し合う視点を確認する。	
	めあて	調べて分かったことを共有し、より分かりやすい伝え方を考え、まとめよう。	
集団 解決 (33)	2 各グループの発表を見て、ワークシート①に記入する。 (発表3分ずつ)	○聞き手に評価の視点を提示し、それをもとに発表者の評価をさせる。	聞き手に分かりやすい説明になっているかを考え、話し合っている。 《ワークシート、発言、行動観察》 思考力・判断力・表現力
	3 発表を見て、よりよい伝え方を考える。 (1分ずつ)	○評価の視点に偏りがないようにするために、書き方の例を示す。 ○評価の視点をもとに良かった点、改善点を付箋に記入させる。 (ワークシート①) ○歴史を伝承していく上で、どのようなことを伝えてほしかったか、もっと知りたかったか、どうすれば歴史が伝承されていくか等をもとに考えさせる。	
<div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">「学び合い」の種</div> 発表を聞き、意見を評価の視点別にワークシートにまとめ、発表グループに渡す。そのワークシートを手がかりによりよい伝え方を考えさせる。			
ま と め (7)	4 まとめをする。 ○意見をワークシート②に整理し、発表の見通しをもつ。 ○次回の計画を立てホワイトボードに書く。	○他グループからもらった意見をまとめ、歴史を伝承するためにどうすればよいかを考える。(ワークシート②) ○どうして直すのか理由を明確にさせる。	
振 り 返 り (3)	5 本時の振り返りをする。	○本時の学びを3つの観点(理解したこと・学びの姿・次時に向けて)で振り返らせる。	

【目指す具体的な児童の姿】(振り返り)

- ・友達の意見から、改善するところがよく分かったので「学びの葉」が育った。次回はしっかり改善していきたい。
- ・興味を持ってもらえる情報を入れて、もっと楽しめるパンフレットにしていきたい。
- ・説明が不十分だったところを説明できるようにもっと調べていきたい。

(4) 板書計画

めあて 調べて分かったことを共有し、より分かりやすい伝え方を考え、まとめよう。

○評価の視点

- ・保護者や地域の人の立場に立って聞き、分かりやすかったか。
- ・歴史について理解ができたか。

まとめ
○○グループ
～について分かりやすく伝えられるように、キーワードカードを作る。

○○グループ
～について分かりやすく伝えられるように細かいところを調べ、まとめる。

○○グループ

○○グループ

成果と課題

〔成果〕

(1) 児童の姿から

情報収集活動

- ・ 社会科で歴史について学習していたので、校区の歴史調べに関心をもち、意欲的に取り組んでいた。
- ・ 情報収集活動では、校区の歴史について国語科で学習した話し方やメモの取り方を活用し、地域の人にインタビューすることができた。(知識・技能)
- ・ 地域の人にインタビューする中で、地域の人に優しく接してもらったり、詳しく説明してもらったりして歴史に関する理解を深めるとともに地域の人に感謝の気持ちを抱くきっかけにもなった。(協働的な態度)



【地域の人へのインタビュー】

まとめ

- ・ 表現活動では、社会科で学習した歴史をもとに、当時の様子を考えたり、算数科で学習した資料の読み取り方や表し方を活用し、新聞やリーフレットにまとめたりすることができた。また、国語科で学習したプレゼンの仕方を生かし、発表の仕方を工夫したり、他教科の学習と関連付けたりすることで思考力・判断力・表現力を育成することができた。(思考力・判断力・表現力)
- ・ 友達と活動する中で、友達の意見を尊重したり、役割分担をしたりする等、協力することの大切さを学ぶ機会になった。(協働的な態度)



【グループごとのまとめ】

報告会

- ・ 調べたことを報告し合う活動では、歴史を継承していくにはどうすればよいかを考えることができた。分かりやすくまとめ、伝えることが大切であると考えることができた。(知識・技能)
- ・ 各グループの報告を聞く中で、地域の歴史について理解を深めることができた。(知識・技能)
- ・ 調べたことの報告を児童同士で評価することで、客観的な視点から改善点に気付く等、歴史案内に向けて学年全体で協力しながら学習することができた。(協働的な態度)



【グループごとの発表】

評価の視点

- 相手意識
- 目的意識

- ・ よかった点は青色の付箋
- ・ 改善点は赤色の付箋



【グループ協議】

相手の反応
を確かめなが
ら話してい

相手意識
についての
よかった点

目的意識
についての
よかった点

目的意識
についての
改善点

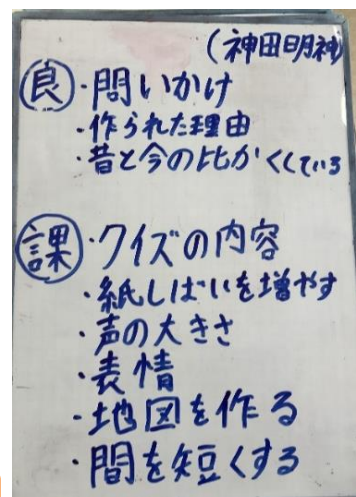
相手意識
についての
改善点

建物ができた理由
を伝えていたから、
歴史について理解で
きた。

【グループ発表を評価するワークシート】

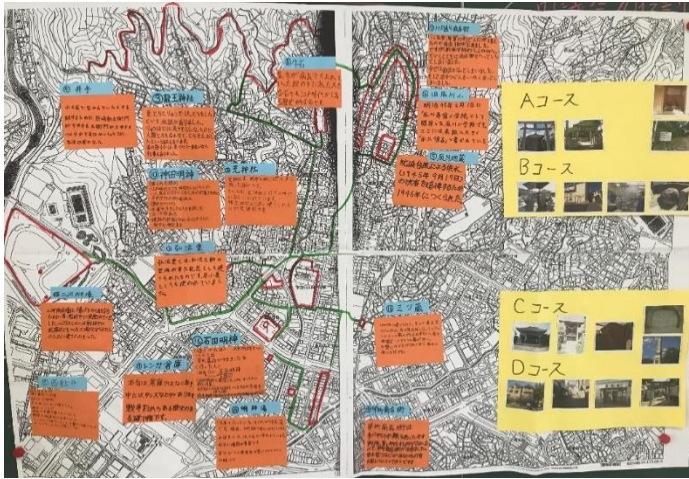
地図が小さくて見えにくかつ

〇〇の説明について詳しく聞きたかった。



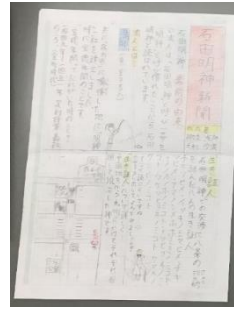
【グループのまとめ】

作成したもの



【歴史マップ】

調べた建物の場所に印をつけ、付箋に建物の説明を書き、マップにまとめた。



【新聞】



【パンフレット】

【チラシ】

各グループがよりよい伝え方を考え、新聞やパンフレット、チラシにまとめた。

歴史案内

- ・ 情報収集活動のアンケート結果の分析から、保護者も地域の歴史についてあまり詳しくないことが分かった。そのため、保護者を対象にした歴史案内を設定することで、必然性のある活動となった。
- ・ 歴史案内では、学習してきたことを生かし、保護者の反応を確かめたり、調べたことを表現したりすることができた。また、新しい情報に対して反応してもらったり、感想を伝えてもらったりすることで、児童に達成感が生まれ、これからも地域の歴史を伝えていきたいと考えた児童が多くいた。



【歴史マップの全体説明】



【グループ発表】



【グループ発表】



【グループ発表】

(2) 児童のアンケートから

資質・能力	アンケート項目	アンケート結果			
		よく	あてはまる	あまり	全く
思考力・判断力	学んだことをもとに、よりよい方法を考えていますか。	20人	14人	1人	0人
表現力	目的に合わせた表現ができていますか。	21人	13人	1人	0人
協動的な態度	目的に応じていろいろな人の考えを聞いて、解決方法を考えていますか。	21人	11人	3人	0人

児童アンケートでは、「学んだことをもとに、よりよい方法を考えていますか。」の設問に対して、約97%の児童が肯定的な回答をしている。学んだことを活用する場を設定することの大切さを改めて実感した。また、「目的に合わせた表現ができていますか。」の設問に対しても、同様に約97%の児童が肯定的な回答をしている。この結果から、学習を通して相手や目的を意識した表現方法について学び、活用していると考えられる。

【課題】

- ・ 情報収集活動の中でインターネットを活用しても情報がなかった。あらかじめ、地域のどの人が詳しく知っているかを指導者は知っておくと、活動しやすかった。
- ・ 校外に出て活動をする際に、学級担任だけでは安全を管理するのが難しかった。そのため、専科や保護者の協力を検討する必要がある。
- ・ 集めた資料の中には、意味を読み解くのが難しいものが多かった。そのため、そのときには、どのようにして読み解くのかを理解させておく必要がある。(知識・技能)